

会告

■先端芸術音楽創作学会運営体制

運営委員

事務局

会長：小坂直敏 (東京電機大)
副会長：高岡明 (玉川大), 古川 聖 (東京芸大)
広報 (イベント)：塩田和明 (尚美学園大)
広報 (Web)：根本翔多 (東京電機大学)
会計：森威功 (東京芸大)
会報：安藤大地 (首都大)
翻訳：Renick Bell (東京電機大)

一般

石井紘美 (英国シティ大学), 今井慎太郎 (国立音大),
小林良穂 (慶応大), 寺澤洋子 (筑波大学),
中村滋延 (九州大), 西野裕樹 (シンガポール国立大学),
沼田雄司 (桐朋学園大学), 深山 寛 (東京大),
水野みか子 (名古屋市立大),
Cathy Cox (玉川大),
Michael Chinen (米国ダートマス大学)

在外国メンバー

Mara Helmuth (University of Cincinnati, U.S.A.),
Karen Wissel (Growth in Motion, Inc., U.S.A.),
Mark Battier (Sorbonne, France)

■電子ジャーナルへの投稿を歓迎します

原稿は原稿執筆要領に沿って書いていただき、編集委員まで送付して下さい。また、詳細については編集委員までお問い合わせ下さい。

編集委員：安藤大地 dandou[at]sd.tmu.ac.jp

原稿は以下のカテゴリに分類されます。

- **原著論文** 研究論文。査読を経て採録されたものが掲載されます。
- **研究報告** 研究の予稿。査読はなし。通常の学会の研究会の予稿に相当。
- **会議報告** 国際会議等の参加報告。
- **解説** 既に知られている重要な技術、概念、研究動向を読者にわかりやすく伝える記事。
- **連載** 何回か継続して綴られる原稿。解説や報告などさまざまな区分が個々の原稿にはあるが、全体を連載として区分する。
- **インタビュー** 作曲家、音楽家へのインタビュー。
- **書評** 読者へ紹介したい単行本の感想、評論など。
- **報告** 自身のあるいは研究室の活動報告など。
- **作品解説** 自作品の哲学、用いているシステム紹介、音楽理論などを作品の中で特筆すべき内容を解説する。プログラムノートを発展させ、より学術的にしたもの。

このほかのカテゴリも必要に応じ、作成したいと考えています。上記に当てはまらないものは編集委員にご相談下さい。

■第5回研究会

日時：2010年6月20日(日) 13:00 - 17:40

会場：九州大学・芸術工学東京サイト (東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー 5F・デザインハブ内)

プログラム

○1件目

発表者：石井 紘美 (英国シティ大学)
講演タイトル：欧州電子音響音楽裏事情

○2件目

発表者：柴山 拓郎 (東京電機大学理工学部)
講演タイトル：文脈構造の空間的散逸による音楽表現の拡張に関する研究と実践 新しい表現理論の創出を目指して

○3件目

発表者：藤岡 定 (九州大学大学院 芸術工学研究院)
講演タイトル：タイピングを応用した演奏ソフトウェアによる音楽表現

その後、総会。

編集後記

先端芸術音楽創作学会の会報の今年度第一号となります。今号は3本全ての原稿が読み応えがあり、非常にためになるものばかりです。石井さんは第一号から連載として欧州の電子音楽事情を伝えてきていただいていたましたが、満を持しての発表となります。柴山さんは自身の電子音響作品について、その哲学的な部分からのプロセスを詳細に記した報告となっています。藤岡さんの原稿は、以前から注目されていたタイピングキーボードを使ったソフトウェアとパフォーマンスについての詳細が述べられています。どの原稿も制作を行う研究者や学生にとって非常に有益なものとなるでしょう。

今年度も先端芸術音楽創作学会をよろしくお願いいたします。

(会報編集担当:安藤)